

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
5 0	恵那南高等学校

学校教育目標	社会の変化に対応し、主体的に生きていくための資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間の育成を図る。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> 自己の適性を理解し、自らの将来をデザインし、自己実現に向けて自発的に行動できる生徒 多様な人々と協調性をもって豊かな人間関係を築き、他者と協力して課題解決に取り組める生徒 地域との関わりを大切にし、地域の課題を発見し、地域の持続的な発展に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性や能力を開花させ、将来の進路目標を実現するためのカリキュラムの編成とICT活用などによる分かりやすく個に応じた指導の実施 「探究的な学び」や教科学習、対話的な学びによる、コミュニケーション能力と自己表現力の育成 長く広い視野で自分の住む地域のことを考える心を育む教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動、部活動、生徒会活動などを通じて、自らの可能性に挑戦したい生徒 人との関わりやつながりを大切にし、仲間と協力しながら主体的に学びたい生徒 地域活動やボランティア活動などに主体的に参加し、地域社会で活躍したいという意欲のある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 総合学科の特性を生かし、生徒一人一人にとって魅力のある学校を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> ① 高校3年間を見通した指導計画を作成し、生徒一人一人が各自の進路目標を達成できるように、全職員で指導と支援の充実を図ります。 ② 多様な生徒に対して、少人数分割授業や習熟度別授業を展開し、ICT機器を効果的に活用するなど、学習方法を工夫し、学力の定着を図ります。 ③ 演劇等ワークショップや種々の地域連携事業を通し、生徒の主体性、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図る魅力ある教育を推進します。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が決めた目標を達成できたか。また、保護者や外部の視点からも妥当であったか。 ② 授業アンケート等を活用し、わかりやすい授業であったかを確認する。 ③ ワorkshopや種々の行事、部活動等で生徒は主体性をもって活動できたか。
2 地域や家庭及び小中学校、特別支援学校や地域との連携を密にすることにより、生徒一人一人の視野を広げ、ものの見方、考え方を深めることでより一層の生徒理解・生徒支援を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> ① 広報活動を活発に行うことにより、学校の活動や魅力を家庭や地域に広く伝え、学校と家庭・地域社会との相互理解を図ります。 ② 地域行事や地域施設を利用した学習に積極的に参加し、地域との交流を深めて自己肯定感の高揚に努めます。 ③ 教育研究実践機関「浪漫学園」を活用し、近隣の小中特支の児童生徒や教職員、地域住民との交流を深め、新しい学びの場を提供します。 ④ 出身中学校や特別支援学校と高校間の連携を密にし、情報交流を深めることで、適切な生徒理解と支援をします。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 本校に対する理解はどの程度深まったか。 ② 生徒・職員がどの程度地域と関わり、新たな発見をすることができたか。 ③ 他校種や異学年、地域との交流を通じて、どのように新しい学びの場が創造でき、成果があったか。 ④ どのような方法で生徒の成長及び進路意識の向上に結び付けたか。
2 基本的な生活習慣・生活態度の定着を学校生活全般において徹底させ、地域に貢献できる人材の育成を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> ① 挨拶、言葉遣い、基本的なマナー、規範意識の向上について、学校生活の全ての場面で全職員が指導に当たり、生徒理解に基づく支援を行います。 ② 「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」を活用し各種教育活動を通じて地域に貢献できる人材を育てます。 ③ ふるさと魅力体験事業を活用するとともに、外部の人材による各種講座等を増やすことにより、地域に根差した道徳心を育てます。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒、保護者、地域の評価。また、取組の結果等を検証する。 ② 地域の方々とのふれあいの中で、何を学び、地域の方々の声をどう反映することができたか。 ③ 生徒が何を達成することができたか、意識の変化はあったか。
4 教職員の働き方改革を推進し、教職員・生徒ともに生き生きと活動できる学校を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> ① 常に教職員の業務の見直しを図り、適正化・効率化に努めます。 ② 教職員の負担の軽減を図り、教職員が生き生きと働き、生徒ひとりひとりとしっかり向き合える時間の確保に努めます。 ③ 教職員が信頼し合えるチームづくりを行い、「働きやすい環境づくり」を構築します。 		<ol style="list-style-type: none"> ① ICTの活用は進んでいるか。 ② 時間外在校等時間の上限を超えない取組、工夫ができてきているか。 ③ 適切に年次休暇等を活用するなど、健康管理に配慮しているか。